夢のあるまちづくりを市民の皆さまと

第60号
平成30年11月1日発行
豊後大野市議会

議会だより

声のかけ橋

平成29年度決算を認定 8
8名の議員が市政を問う 11
意見交換会を開催 22
キラリ☆ひと言 24

清川小学校運動会

平成30年第3回定例会
（会期　8月31日～9月27日）

8月31日から第3回定例会が開かれました。

今定例会では、報告2件、認定11件、諮問3件、24議案が上程され、慎重に審議を行い、それぞれ可決しました。

9月5日と6日の2日間にわたり、行われた一般質問には、8人の議員が登壇し、執行部と活発な論戦を展開しました。（11～19ページ参照）

また、各常任委員会では、付託議案の審査の他、事務事業評価を実施しました。

今定例会には、延べ19人の方々が傍聴に訪れました。

平成30年度一般会計補正予算（第3号）

3億9146万2千円 追加

《一般会計予算総額》
257億583万5千円

補正予算の一部を紹介

支所・公民館整備工事請負費　1億1664万円追加

清川支所・公民館、緒方支所・公民館、朝地支所、犬飼支所の建設に伴うもの。分離・分割方式による発注のため、今後は平成31年第1回定例会にも予算計上される予定。

エコパーク推進事業
481万4千円追加

PR強化のため、インバウンドに対応した看板設置等に伴うもの。

小規模給水施設整備事業
1200万円

大分県小規模給水施設普及支援事業を活用し、飲料用水供給施設の整備を行うもの。

市道維持補修工事請負費
5千万円追加

地元要望による市道維持補修工事請負費の増額補正を行うもの。

企業誘致推進事業
4354万1千円追加

新規進出企業に対し助成金を交付するもの。

財産の処分について

旧大野高校跡地の分譲を開始

旧大野高校跡地の市有地を、宅地分譲地として処分するものです。定住人口の増加と地域活性化を目的に整備を進められていたものであり、計26区画の宅地の分譲が開始されます。

工事請負契約の締結

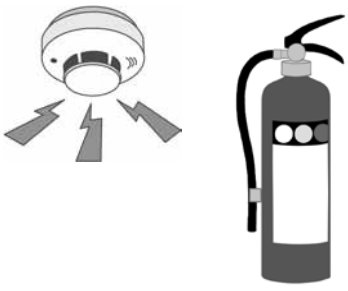
市原住宅1期建替工事を恵藤建設株式会社と2億3,899万5,360円で契約締結するものです。

【概要】

建築構造　　鉄筋コンクリート造5階建て
延べ床面積　1353.8㎡
入居戸数　　20戸
間取り　　2ＬＤＫ
竣工予定　　平成31年9月

豊後大野市火災予防条例の一部改正

防火対象物の消防用設備等の状況が法等の規定に違反する場合、その旨を公表



不正競争防止法等の一部を改正する法律の公布に伴い、条例改正の必要があるとともに、防火対象物の消防用設備等の状況が法等の規定に違反する場合に、その旨を公表するものです。

委員会審査報告
主な議案の審査経過を報告します

総務 常任委員会

●豊後大野市税特別措置条例の一部改正

地域再生法の一部を改正する法律の施行に伴い、固定資産税の課税免除等を実施するための一部改正であり、具体的には、東京23区から地方に本社機能を移転した場合、3年間固定資産税をゼロにするものと、地方企業の本社機能の強化等について、不均一課税の期限を伸ばすものです。

問 これまでの実績は。

答 市内では、これまで該当がなく、県内でも、本社機能の強化が3社程度です。

【付託議案の審査結果】
議案5件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきとしました。

●財産の処分

定住人口の増加を促進し、地域の活性化を図るために、旧大野高校跡地で、宅地分譲地として造成した市有地を売却するものです。全部で26区画あり、子育て世代や市や県の就農支援事業対象者を先行募集する予定です。

問 低所得者優先も必要ではないか。

答 安い価格での販売ということで、低所得者の方にも購入いただける政策にはなっています。それ以外で、特に低所得者優先は考えていません。

問 土地が安いことで民業圧迫にならないか。

答 民間への影響が全くないとは言えませんが、定住促進という政策目的に鑑み実施したい。

厚生文教 常任委員会

●豊後大野市小規模給水施設普及支援事業分担金徴収条例の制定

飲料水確保に問題を抱える三重町松谷地区と大野町小切畑地区で小規模給水施設普及支援事業を実施することに伴い、受益者から分担金を徴収するものです。

問 分担金の金額は。

答 これから実施設計を行い、各地区の事業費が確定し、それに対しての5％が分担金となります。

【付託議案の審査結果】
議案9件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきとしました。

●豊後大野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

放課後児童支援員の要件について、現行の教諭となる資格を有する者から教育職員免許状を有する者と改正し、新たに第10号として5年以上放課後児童健全育成事業に従事したものであって、市長が適当と認める者を加えるものです。

問 免許状を有する者の詳細は。

答 教員資格を持ち、かつ有効期間のある免許状を持った者をいいます。

問 新たに加えた第10号の基準はどういうものか。

答 放課後児童支援員の資格要件を拡大し、支援員の確保を図ったもので、中学校卒業の方も5年以上放課後児童クラブで従事すれば支援員となることができるようになりました。

産業建設 常任委員会

●豊後大野市旅館営業を目的とした建築の規制に関する条例の一部改正

旅館業法の一部改正により、営業種目のホテル営業と旅館営業が統合され「旅館・ホテル営業」と文言が変わり、同条を引用している本条例の「ホテル営業及び同条第３項に規定する旅館営業」という文言を「旅館・ホテル営業」と変更するものです。

問 民泊等に影響する法の改正か。

答 民泊は簡易宿所営業になりますが、そちらは今回、改正の内容にはありません。

【付託議案の審査結果】
議案7件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきとしました。

●平成30年度簡易水道特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ３７５５万８千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ２億４９３７万７千円とするものです。歳出は、維持管理費を３７５５万８千円増額補正するもので、内訳として修繕料２４４５万８千円、委託料３８０万円、工事費９３０万円を増額補正します。

問 委託料はなぜ年度当初に計上しなかったのか。

答 年度初めに計上していませんでしたが、新システムのバージョンアップの情報を得ましたので、バージョンアップしたものを活用し、老朽管の更新計画を立てたいということで、今回計上しました。

人権擁護委員候補者の推薦

平成 30 年 12 月 31 日で任期満了となる現委員（３名）の後任候補者として推薦されます。

人事案件

後藤 弘美（ごとう ひろみ）氏
【清川町】

衛藤 恵子（えとう けいこ）氏
【朝地町】

水澤 和代（みずさわ かずよ）氏
【犬飼町】

任期
自：平成 31 年　1 月　1 日
至：平成 33 年 12 月 31 日

適任

事務事業評価を実施

各常任委員会で昨年度の事業の中から２～３事業ずつ選定し、３日間にわたり、事務事業評価を実施しました。はじめに委員個人ごとに事業結果に対する評価と今後の方向性を評価した上で、委員間で討議し、委員会としての評価を決定しました。

評価結果を執行部に伝えることで、今後の業務改善や予算確保などにつながっていくことが期待されます。

総務常任委員会

◆【調査事業】
防災対策事業
【事業の目的（抜粋）】
防災は、行政のみの対応では限界があり「自分の命は自分で守る」ことも必要であることから、市民に対して「自助・共助・公助」の意識啓発、市民に対する災害関連情報の提供を行うため、的確に情報伝達するための環境整備を行う。
【事業結果に対する評価】
おおむね適正
【事業の今後の方向性】
拡充
【提言など（抜粋）】
訓練・研修の重要性について自治会を通じて周知、未実施地区には特に積極的な呼びかけを行うこと。また、全市的な訓練も取り組むこと。
防災士のさらなる増員、育成に引き続き取り組むとともに、市の防災士会を早急に結成し連携強化を図ること。
防災アドバイザーの複数雇用、さらに今後、市独自の防災アドバイザー育成も検討すること。
情報伝達手段の多重化は、災害時にきちんと機能し、全ての市民に災害情報が伝わるよう配慮するとともに、取り組めるところからでも早急に取り掛かること。
災害はいつ起こるかわからないので、市民の安心と安全を守るため、訓練や研修の実施、避難所の再点検や整理、情報伝達手段の多重化やハザードマップ作成など、全てにスピード感を持って取り組むこと。
市民に最も重要な事業の一つであると考える。自助・共助も必要だが、公助がおろそかになることがないよう全力を尽くすこと。また、そのための取り組みを早急に進めること。

◆【調査事業】
まちづくり協議会事業
【事業の目的（抜粋）】
参加と協働によるまちづくりの推進のため、地域の活性化や課題解決に取り組むまちづくり協議会の運営や自主的な活動に要する経費を支援する。
【事業結果に対する評価】
良好
【事業の今後の方向性】
継続
【提言など（抜粋）】
各まちづくり協議会の独自性は尊重すべきだが、事業進捗の遅れなどに対してはサポートを強化すること。また、事業実施期間終了後も必要とするまちづくり協議会にはサポートを行い、場合によっては補助事業を継続すること。
事業の内容や成果を明らかにするため事業の「見える化」に取り組むとともに、それをもって、より多くの市民が参加できるよう積極的な周知を図ること。

厚生文教常任委員会

◆【調査事業】
社会教育総務事業
【事業の目的（抜粋）】
社会教育委員会を開催して社会教育計画を策定し、社会教育委員としての資質向上のために各種学習会への参加及び先進地研修等を実施。また、社会教育促進のために地域コーディネーターを雇用し、地域課題の解決に向けた事業を実施。
【事業結果に対する評価】
おおむね適正
【事業の今後の方向性】
改善
【提言など（抜粋）】
平成32年度からの公民館等の指定管理制度導入などを踏まえ、社会教育委員の果たす役割がさらに大きくなるが、今後も研さんを積み、教育委員会に対する助言を期待する。

厚生文教常任委員会

◆【調査事業】
健康増進事業
【事業の目的（抜粋）】
市民が健康な生活習慣の重要性に対し関心と理解を深め、生涯にわたり自らの健康状態を自覚するとともに、健康の増進に努めることができることを目的とする。
【事業結果に対する評価】
良好
【事業の今後の方向性】
継続
【提言など（抜粋）】
積極的にケーブルテレビ、音声告知、市報等を活用し、市民の健康への意識づけを図ること。
社会教育課など他の部署や団体と連携をし、特に運動ができる環境づくりを推進すること。
食生活改善を意識した減塩の取り組みを若い男性に浸透させるためにさらなる努力が必要である。
検診の受診率アップのための取り組みと事業の充実を図ること。

産業建設常任委員会

◆【調査事業】
都市計画総務事業
【事業の目的（抜粋）】
用途地域等により制限を行うことで都市の無秩序な開発を防ぎ市民が安心して暮らせるまちづくりを行う。
【事業結果に対する評価】
おおむね適正
【事業の今後の方向性】
拡充
【提言など（抜粋）】
本市は２０３０年までに人口が２割以上減少する恐れのある都市計画区域を持つ自治体であり、国土交通省所管の社会資本整備総合交付金がもらえる対象のため、立地適正化計画を早急に策定し提出すべきである。
都市計画区域を中心とした都市計画をつくりあげ、それを各町に広げていく。

◆【調査事業】
観光イベント補助金
【事業の目的（抜粋）】
市内各地で実施される観光イベントや地域振興事業に対し補助金を交付することで、集客数の増加による地域振興と市勢の発展を図ることを目的として実施。
【事業結果に対する評価】
おおむね適正
【事業の今後の方向性】
継続
【提言など（抜粋）】
平成31年度から補助金の見直しを行うとのことだが、実施団体に削減を求めていくためには規則や要綱を整備する必要がある。
現在、24のイベントに補助金を交付している。今後これらのイベントは精査されていくと思うが、地域振興を図るためのイベント、公益性の高いイベントのすみ分けをし、補助金の割合を考えるべきであり、さらに豊後大野市ＰＲのために新しく観光イベントを直接実施する予算措置も必要である。
全て市の補助金に頼るのではなく、地域住民が知恵を出し事業費を捻出することも大切である。

◆【調査事業】
多面的機能支払交付金事業
【事業の目的（抜粋）】
農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に支援を行い、地域資源が将来にわたり良好な状態で保全管理されることを推進する。
【事業結果に対する評価】
おおむね適正
【事業の今後の方向性】
継続
【提言など（抜粋）】
この事業を活用するには多くの制約があるため取り組みにくいという声があり、少しでも活用しやすくなるよう、可能な限り事務処理の簡素化、簡略化に向け、国や県に対し要請していただきたい。
広域化することで事業を推進していくことも市行政の役割であり、朝地地区をモデルに拡大していく手法も対象面積を拡げる一つと考えられる。

平成29年度 決算認定

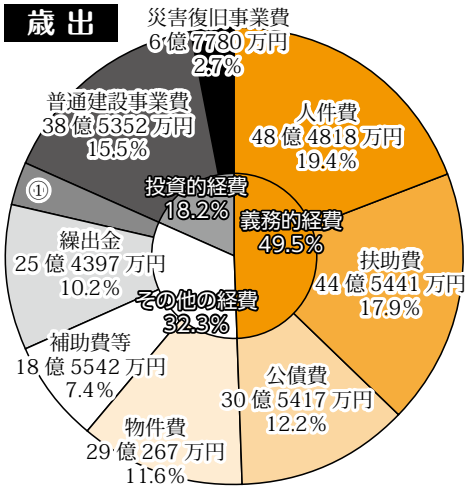
一般会計　歳出決算は前年度に比べ3億3155万4千円増加

決算特別委員会（衛藤竜哉委員長）が、9月20日と21日の2日間にわたり開催され、一般会計、特別会計、上水道・病院事業特別会計の決算を審査しました。

いずれも慎重審査の結果、認定すべきものと決定し、9月27日の本会議で採決の結果、認定されました。

《一般会計決算の内訳》

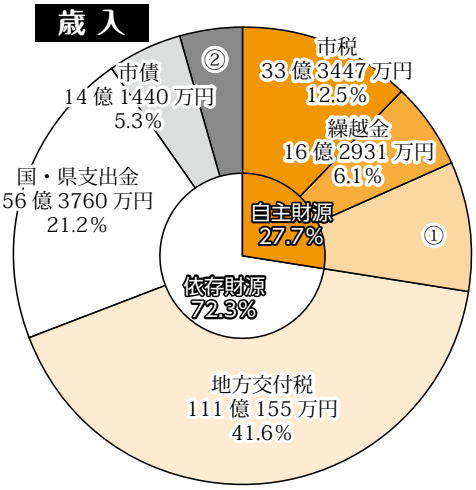
歳出



①その他の経費
7億5956万円
（3.1%）
【内訳】
◆維持補修費
1億292万円
（0.4%）
◆積立金
6億1119万円
（2.5%）
◆投資・出資金・貸付金
4545万円
（0.2%）

合計 249億4970万円

歳入

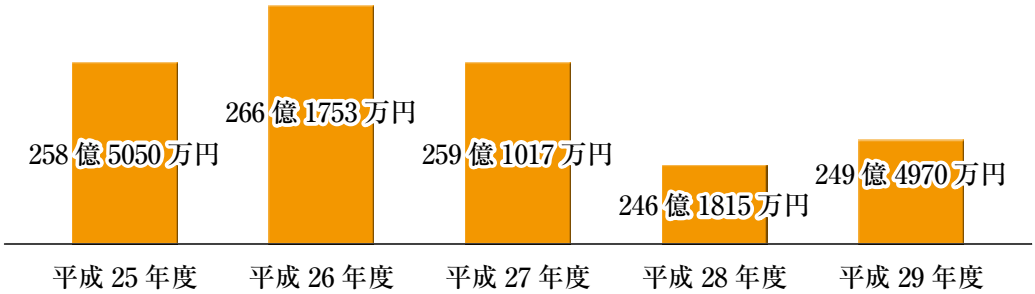


①その他自主財源
24億2799万円（9.1%）
【内訳】
◆分担金及び負担金
3億6757万円（1.4%）
◆使用料及び手数料
4億8419万円（1.8%）
◆財産収入
5495万円（0.2%）
◆寄附金
8862万円（0.3%）
◆繰入金
11億5157万円（4.3%）
◆諸収入
2億8109万円（1.1%）

②その他依存財源
11億2883万円（4.2%）
【内訳】
◆地方譲与税
3億4987万円（1.3%）
◆地方交付金
7億7896万円（2.9%）

合計 266億7415万円

5年間の一般会計歳出決算の推移



※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計が一致しない箇所があります。

《各会計の決算状況》

会計名		歳入	歳入前年度比	歳出	歳出前年度比
一般会計		266億7415万1千円	－6228万2千円	249億4970万3千円	＋3億3155万4千円
特別会計	国民健康保険	61億421万円	＋8569万9千円	56億4718万5千円	－7207万7千円
	後期高齢者医療	5億7074万2千円	＋1866万2千円	5億6747万9千円	＋1821万7千円
	介護保険	64億8981万7千円	＋1億2482万8千円	63億7402万1千円	＋1億3117万9千円
	農業集落排水	2億3679万7千円	＋1361万3千円	2億1479万円	＋178万7千円
	公共下水道	8702万円	＋558万6千円	7832万1千円	－67万8千円
	浄化槽施設	4635万2千円	－133万3千円	4325万8千円	－228万7千円
	簡易水道	3億5158万8千円	－1億4984万7千円	3億1517万5千円	－1億7213万1千円
	太陽光発電事業	1億5121万1千円	＋563万6千円	1億3162万9千円	＋1777万9千円
	計	140億3773万7千円	＋1億284万4千円	133億7185万8千円	－7821万1千円
合計		407億1188万8千円	＋4056万2千円	383億2156万1千円	＋2億5334万3千円

会計名			歳入	歳入前年度比	歳出	歳出前年度比
企業会計	上水道	収益的収支	2億8102万1千円	＋570万7千円	2億6835万1千円	＋1722万9千円
		資本的収支	445万4千円	－6万5千円	7181万9千円	＋183万4千円
	病院事業	収益的収支	35億1549万円	－8832万8千円	37億3285万円	－4186万8千円
		資本的収支	5367万8千円	＋2005万4千円	2億9746万3千円	＋4785万6千円

地方債（借金）

一般会計・特別会計

会計名		28年度末現在高	29年度末現在高
一般会計		246億9625万8千円	232億4746万1千円
特別会計	農業集落排水	9億9408万9千円	9億1877万5千円
	公共下水道	3億2419万5千円	2億8401万1千円
	浄化槽施設	4756万2千円	4297万3千円
	簡易水道	12億3623万円	11億7998万3千円
	上水道	25億9751万9千円	25億5347万3千円
	豊後大野市病院	28億6009万1千円	26億5902万1千円
合計		327億5594万4千円	308億8569万7千円

基金（貯金）

一般会計・特別会計

会計名		28年度末現在高	29年度末現在高
一般会計	財政調整基金	59億7580万5千円	61億7291万2千円
	減債基金	18億250万2千円	18億663万2千円
	その他特定目的基金	115億8049万5千円	114億3187万9千円
	その他定額運用基金	6億8083万円	6億8083万円
特別会計	国民健康保険基金	4億5554万2千円	4億5604万3千円
	高額療養費貸付基金	500万円	500万円
	出産資金貸付基金	300万円	300万円
	介護給付費準備基金	5億4010万6千円	5億7091万2千円
	農業集落排水事業基金	839万6千円	839万6千円
	公共下水道事業基金	207万8千円	207万8千円
	浄化槽整備推進事業基金	361万円	417万5千円
	簡易水道事業基金	9222万円	9222万円
合計		211億4958万4千円	212億3407万7千円

監査委員の意見

財政健全化の取り組みを

益永孝則代表監査委員

本市の平成29年度一般会計及び8特別会計の決算は、いずれも黒字決算であった。

財政状況を客観的に表す健全化判断比率の各比率は、早期健全化基準以下であり良好といえる。

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は89・1％と、前年度に比べ3・4ポイント上回っている。

基金は27基金で、前年度より8449万4千円増加し、212億3407万7千円となっている。

自主財源比率は、市税の増額と収納率の向上などにより27・7％と、前年度に比べ0・6ポイント上昇しているが、依然として地方交付税を中心とした依存財源が高い割合を占めている。

普通交付税が段階的に縮減される中で自主財源を確保するために、より効果的な徴収方法の取り組みにより収入未済額等の縮減に努めるよう望む。

地方公営企業会計は、上水道事業の当年度純利益が1141万1千円で、前年度に比べ1028万9千円減少している。その要因を解消すべく、計画的な取り組みが必要である。

病院事業は、2億1736万1千円の当年度純損失となっている。その要因は、豊肥圏内の人口減少によるものが大きい。

公営企業会計は独立採算が原則であるため、引き続き計画に基づいた経営の健全化に努められたい。

今後も財政健全化に向けた行政改革を行い、市民福祉の向上に努め、各種施策に取り組むことを希望する。

平成29年度に実施された事業に注目

平成 29 年度にどのような事業が実施されたか、その一部を紹介します。

市民病院内に病児・病後児保育施設が整備されました。

サイクリングハブ施設が道の駅おおのの横に建設されました。

スマートフォン等で見られる子育て支援情報サイト「なないろ」が構築されました。

地域新電力会社「株式会社ぶんごおおのエナジー」が設立されました。平成 30 年度から電気の小売事業が開始されます。

第 11 回全国和牛能力共進会の出品に対し支援と助成。内閣総理大臣賞を獲得され、種牛日本一となりました。

市内の小学校と中学校の空調設備工事が実施されました。

8名の議員が市政を問う

9月5日と6日に行われた一般質問には8名の議員が登壇し、支所・公民館の整備、ぶんごおおのエナジー、ふるさと納税など20項目にわたり、執行部と活発な論戦を展開しました。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問と答弁を要約して掲載しておりますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

なお、車いす用のスペースも設けていますので、車いすをご使用の方もお気軽にお越しください。

一般質問

吉藤里美（12ページ）
- 大型事業実施により市の財政状況の見込みは
- 今後の市役所職員の定員管理は
- 平成31年度に設置される子育て世代包括支援センターに期待する
- 公共交通の充実を

神志那文寛（13ページ）
- 市職員の安全と健康を守る取り組みについて
- 支所・公民館の整備について

小野泰秀（14ページ）
- 団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題
- どうなっているマイナンバー制度

赤峰映洋（15ページ）
- 本市における買い物弱者の実態と対策は
- 市民病院はどのようにして市民の満足度と信頼を得るのか
- ぶんごおおのエナジーが市民にとってどのような恩恵があるのか

後藤雅克（16ページ）
- 市産品のPR戦略について
- ふるさと納税を強化すべきでは

嶺英治（17ページ）
- 高齢化等を踏まえたまちづくり施策について
- 急傾斜地崩壊対策事業について

首藤正光（18ページ）
- 大丈夫か、ため池は
- 生活の本拠地と住民票

川野優治（19ページ）
- バイオマス発電所にどう対応する

※ **一般質問**＝議員個人が市の行財政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問。一般質問は各定例会で行われ、本市議会の場合、質問時間は答弁も含め1人60分以内の一問一答方式で行っています。

吉藤里美（よしふじさとみ）
市民クラブ

大型事業実施により市の財政状況の見込みは

～ 将来、危機的な財政状況に陥ることは、現時点は想定していない ～

質 支所・公民館整備事業費が40億1355万5千円に増額変更された。今後の基金残高、起債残高、経常収支比率の見込みはどうなるか。

答 市長

現在、平成35年度までの平成30年度中期財政計画を作成中です。本計画に盛り込む予定の大型事業は、支所・公民館整備事業や新図書館・資料館建設事業の他に、三重町駅周辺整備事業、木質バイオマス発電所周辺整備事業等を想定しています。

平成29年度決算と比較して、平成35年度の基金残高は減少、起債残高は増加、経常収支比率は上昇するものと考えています。

今後の市役所職員の定員管理は

～ 退職予定者数に応じた計画的な採用に取り組む ～

質 今後の市役所職員数の見込みは。

答 市長

現時点における定員管理の方向性は、本年4月1日現在の職員数442人を、平成35年度に420人、平成40年度に404人と計画しています。

平成31年度に設置される子育て世代包括支援センターに期待する

～ 臨床心理士を配置し、子育て支援を充実（直営で実施） ～

質 センターでは、子育て支援をどのように充実するのか。

答 市長

臨床心理士が、家庭における困りごとに対応していきます。

公共交通の充実を

～ 豊後大野市地域公共交通網形成計画を達成する ～

質 市民の移動手段確保のため、今後どのようにサービス向上を行うか。

答 まちづくり推進課長

乗り継ぎや待合の環境整備などの他、あいのりタクシーの運行エリアの変更・拡大、利便性や利用動向を反映したルートやダイヤ等の見直しを行うこととしています。

コミュニティバスのバス停

神志那文寛（こうじな ふみひろ）
日本共産党

市職員の安全と健康を守る取り組みについて

～ 完全に実施できていない ～

質 衛生管理者や産業医による定期的な職場巡視や、安全衛生委員会の定期的な開催が行われていないのは、法令違反ではないか。

答 総務課長　本市は安全衛生の取り組みを推進するため、市民病院、教育委員会、消防本部、清掃センター、その他と、計五つの安全衛生委員会を設置し、事業を実施しています。

ご指摘のとおり、労働安全衛生規則では、衛生管理者及び産業医の定期巡視と安全衛生委員会を毎月１回以上行うことと定められていますが、現在、本市では完全に実施できていない状況です。

巡視の在り方は、現場の実態を調査し産業医の意見を踏まえ、適切な実施に努めていきます。安全衛生委員会は、毎月定期の開催を行うよう指導します。

質 合併以来、この法令違反の状態が続いていたことについて、市長と教育長の見解を伺う。

答 市長　甚だ遺憾であると存じています。完全に実施できるよう、私自身も指導していきたいと考えています。

答 教育長　教育委員会部局において、これまで完全に実施できていなかったことは、長としてその責任を感じているところです。

今後は法令に従って対処していきます。

支所・公民館の整備について

～ 施設面積が大きく増加 ～

質 ２０１６年の試算から約2倍と大幅に増加した理由を伺う。

答 市長　支所・公民館の整備事業費が大幅に増加した理由は、施設面積の増加と建築に係る単価の上昇によるものが大きく、これに当初見込んでいなかった外構工事と消費税増税分を加えた結果、40億１３５５万円となったところです。

解体中の犬飼支所

その他の質問
・本に出会える公民館図書室を

団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題

～ 将来に向かって持続可能なまちづくりの実現 ～

小野泰秀（おのやすひで）
創生会

質

2025年問題は、戦後のいわゆるベビーブームに生まれた世代が75歳の後期高齢者の年齢に達する年となり、これまで国の社会保障制度の大部分を数の力で支えてきた団塊の世代が、一気に給付を受ける側に回ることとなり、国や自治体の社会保障財政の運営に大きな影響を及ぼすものと思われる。

市としては、2025年を見据え、どのような戦略をもって医療や介護、福祉サービスを提供していくのか。

答 市長

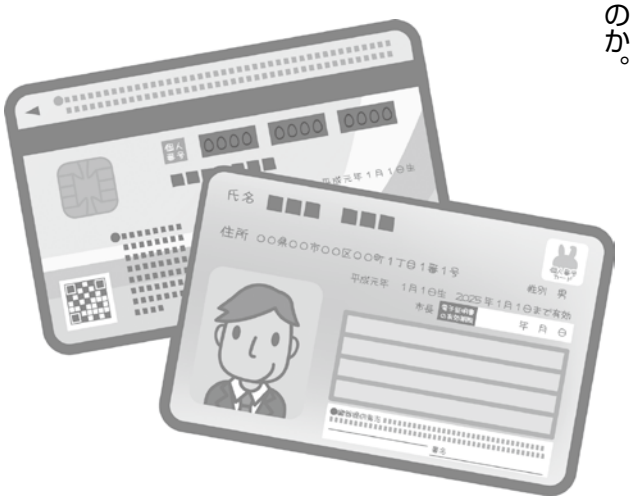
2025年までを計画期間とした第2次豊後大野市総合計画の政策目標である豊かな福祉社会の実現を目指すまちを実現するために、保健・医療サービス、地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉などの充実に向けた各種施策を着実に進めることとしています。

どうなっているマイナンバー制度

～ 普及に向けた取り組みを進める ～

質

個人番号カードの交付申請が、2016年1月から市町村の窓口において開始され2年8カ月が経ち、現在、政府と関係省庁が一丸となって利便性を高めるための取り組みを進めるなど、国民の知らないところで粛々とマイナンバーカードの用途拡大を図っているようだが、市はこのマイナンバー制度についてどのような考えを持っているのか。



答 総務課長

マイナンバー制度は、公平・公正な社会の実現、国民の利便性の向上と行政の効率化を実現していく上で必要不可欠なものであると認識していますので、引き続き、市民の皆さまに対し、ケーブルテレビ等を通じてカードの取得を呼びかけるとともに、職員とその家族に対しても、取得促進の呼び掛けを継続して行います。

赤峰映洋（あかみねてるひろ）
創生会

本市における買い物弱者の実態と対策は

～ 支援策を検討 ～

質 今後間違いなく増加するであろう買い物に不便を来す人の実態を把握しなければ、しっかりとした対策もたてられない。早期の実態調査をお願いしたい。

答 高齢者福祉課長
買い物と移動の問題は各地の課題となっています。本年度は市全体の住民同士の支え合い活動を応援する組織を立ち上げる予定で、地域に共通する課題や有効な支援策を検討します。

市民病院はどのようにして市民の満足度と信頼を得るのか

～ 豊肥地域で設備の最も整った医療施設としての役割を果たしたい ～

質 市民病院は、地域医療を担う自治体病院として市民に対して果たす役割は大きく、責任もある。今後、どの分野に力を入れ、市民の求める安心して治療ができる病院を目指していくのか。

答 市民病院長
現時点での役割は、急性期医療を担うことと考えています。地域住民は高齢者が多く、何らかの病気を抱えている方が多いことなど、病気の増悪や骨折などで急な入院治療が必要になった際の診療を担うことが市民病院の役割です。

質 市民病院に行きたくても行けない人も数多くいると思うが、その対応は。

答 市民病院事務長
送迎バスは今後の課題として、検討していきます。

ぶんごおおのエナジーが市民にとってどのような恩恵があるのか

～ 新しい産業や雇用を創出する ～

質 新電力数も５００社を超え、２年間で約２倍になっている。大手や新電力会社との競争も激しくなってきているが、今後の営業政策はどうするのか。

答 市長
収益性が高まれば、住民の皆さまに還元できる付加サービスを提供できると考えます。一般家庭には、自治会回覧やケーブルテレビ等で周知し、加入推進に取り組みます。

後藤雅克（ごとうまさかつ）
創生会

市産品のＰＲ戦略について

～ 効果的なＰＲに努める ～

質　地場産品のブランド化、オール豊後大野のブランド化を推進するという目標のもと、今後のビジョンと戦略は。

答　**商工観光課長**
総合計画ではブランド化や販路拡大の強化、総合戦略では本市の基幹産業である農業の振興を基本とした農商工観の連携を図りながら、豊後大野市の豊かな地域資源をブランド化し、力強い産業を確立することで新しい雇用の創出を目指すとしていますが、販売額等の詳しい目標は、現在定めていません。

質　ブランド推進課等の設置検討は。

答　**市長**
現時点では考えていません。本年４月より理事制を導入し、理事がこれらの事業を連携させていくために横の連携を図っていますので、その実績を見ていきたいと考えています。

また、チャンネルを広げすぎていますので、選択と集中ということで少し整理して、有効なところに資金を投入するやり方を今後は考えていきたいと考えています。

ふるさと納税を強化すべきでは

～ 本年度は１億円を目指す ～

質　各自治体が有効な財源確保の機会と捉え、注目されているふるさと納税に、もっと力を入れるべきではないか。

答　**まちづくり推進課長**
本市は、取り組みが遅れたので、先進自治体の取り組みや※ポータルサイトのノウハウを取り入れ、事業効果を上げたいと考えています。

参加頂く事業者数を増やす働きかけを強化し、返礼品の品揃えの充実に努めます。

また、ふるさと納税ポータルサイトを増やし、本年度は１億円の大台を目標としています。

※ポータルサイト＝玄関口となる Web サイトのこと。

嶺（みね）　英治（えいじ）
市民クラブ

高齢化等を踏まえたまちづくり施策について

～ 新規事業を精査し、積極的に努める ～

質 老人クラブ等の育成、強化は。

答 **総務企画統括理事** 加入率が高い他市の状況を調べ、本市への展開を検討しています。

質 支所はまちづくりの拠点である。新しく生まれ変わる支所・公民館等の在り方について、利便性を考え市民に早く周知を。

答 **総務企画統括理事** 他の団体等に対して、新しい支所・公民館に入れないことを説明し、今後のことについて、引き続き協議を重ねていきます。

質 今年度から取り組む市民提案型協働のまちづくり事業は好評。申請の分野別に補助してはどうか。

答 **まちづくり推進課長** 観光や高齢者福祉、社会教育、地域づくりなどの提案をいただいたが、テーマを絞らず必要性、公益性、発展性などから審査しました。衆目を集めにくい分野は行政提案型も検討していきます。

質 次年度、予算の増額を。

答 **まちづくり推進課長** 新規事業の効果を検証し、選択と集中による予算編成を行っていきたい。

急傾斜地崩壊対策事業について

～ 事業枠の拡大を強く県に要望していく ～

質 本事業の現況は。

答 **建設課長** 三重町20件、清川町6件、緒方町12件、朝地町13件、大野町18件、犬飼町6件の計75件です。

質 申請件数に対し事業実施件数が少なく、申請してから事業着工までに7～8年要している。市民の安全、安心をどう考えるか。

答 **建設課長** 県の補助事業でもあるので事業枠の拡大を強く県に要望するとともに、事業実施できていない箇所は、災害等で危険が予測される時には、消防や防災危機管理室とも情報共有を図り、地域ぐるみで早めの避難につながるよう努めます。

大丈夫か、ため池は

～ 関係課と連携し、万全を期す ～

首藤 正光（しゅとう まさみつ）
緑政会

質 ため池の点検は。

答 農林整備課長

国の通達で平成25年度からの3カ年で、耐震性に関する一斉点検を行うこととなり、本市もため池167カ所全ての点検を実施しました。

被害想定区域内に1戸以上の人家または公共施設等があるため池95カ所を選定し、現在、県が点検調査を実施しています。

質 防災・減災対策は。

答 農林整備課長

ため池が決壊するおそれがある場合や決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するための参考となる、ため池ハザードマップを作成する必要があります。

ハザードマップは、これまで1カ所のため池で作成していますが、今後は緊急点検の結果を踏まえ、緊急性を考慮し作成が必要な箇所を選定します。

施設改修等のハード対策やハザードマップ作成等のソフト対策を組み合わせた防災・減災対策を実施することで災害の未然防止が図られるよう、関係課と連携し万全を期します。

生活の本拠地と住民票

～ 啓発していく ～

質 住民票を移さなかった場合に法的問題は。

答 市民生活課長

住民基本台帳法には、転入届、転居届、転出届等に関し、「虚偽の届出をした者は、他の法令の規定により刑を科すべき場合を除き、5万円以下の過料に処する」旨、また、正当な理由がなくて届出をしない者は、5万円以下の過料に処する旨、規定されています。

住民票を移さない場合、住民票を基礎とした行政サービスが受けられないだけでなく、社会保障や行政手続を市役所の窓口で行うことができません。

転入届をはじめとする各種手続きは、ホームページで啓発していますが、今後はケーブルテレビや市役所の関係機関におけるチラシの掲示などを通じての啓発も行います。

川野優治（かわのゆうじ）
緑政会

バイオマス発電所にどう対応する

～ 周辺住民の理解を得られるようにやる ～

質　市は、バイオマス発電所から生じる排熱を利用する施設を発電所周辺に誘致する事業（木質バイオマス発電所周辺整備事業）を計画しているが、どの程度具体化しているのか。

答　市長　現段階は、発電所周辺の四つの自治会での地元説明会を終えたところです。説明会では、排熱利用事業に期待するご意見をいただいた一方で、発電所周辺の住民の皆さまからは、発電所の稼働に伴う木質チップの粉じん飛散等に関して、抜本的な対策を求める切実なご意見を多くいただきました。

こうした状況を踏まえ、排熱利用事業は発電所周辺の住民の皆さまから粉じん飛散への対応に一定のご理解をいただけるまで、計画を進めることは困難であると判断しています。

質　粉じんが周辺住宅に飛散し、健康被害等が生じているが、問題解決のため、どのような対策がとられているのか。

答　市長　市では、本年１月から企業誘致・エネルギー政策・環境問題・森林整備などの業務を担当している部署で構成する木質バイオマス発電所周辺対策会議を定期的に開催するなど、市の体制を充実し、粉じん等による被害状況の把握や対策に取り組んでいるところです。

また、会社と締結している環境の保全に関する協定書に基づき、本年６月28日付けで、会社に対し、効果的な木質チップ粉じんの飛散防止対策を速やかに講じられるよう文書で要請したところです。現時点の会社の対応ですが、木質チップの粉じんの飛散を防止するため、シートで覆うことができないかなどの検討を開始しています。

その他の質問
・株式会社ぶんごおおのエナジーの実態について

各議員の議案に対する賛否の状況（平成30年第3回定例会）

※○＝賛成　×＝反対　退＝退席　欠＝欠席　除＝除斥　　佐藤辰己議員は議長職のため表決権はありません。

会派名			創生会									市民クラブ				緑政会			
件名＼議員名	議決月日	議決結果	赤峰 映洋	小野 泰秀	小野 順一	宮成 昭義	生野 照雄	衛藤 正宏	沓掛 義範	田嶋 栄一	後藤 雅克	衛藤 竜哉	穴見 眞児	吉藤 里美	嶺 英治	内田 俊和	川野 優治	首藤 正光	神志那文寛
人権擁護委員候補者の推薦について（諮問第２号）	8月31日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について（諮問第３号）	8月31日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について（諮問第４号）	8月31日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
工事請負契約の締結について	9月12日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
平成29年度豊後大野市一般会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成29年度豊後大野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成29年度豊後大野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成29年度豊後大野市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成29年度豊後大野市農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市公共下水道特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市浄化槽施設特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市上水道特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市病院事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市手数料条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市税特別措置条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市小規模給水施設普及支援事業分担金徴収条例の制定について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市隣保館条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
豊後大野市におけるあらゆる差別をなくし人権を擁護する条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
豊後大野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市旅館営業を目的とした建築の規制に関する条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市火災予防条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の廃止について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市上水道特別会計未処分利益剰余金の処分について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市一般会計補正予算（第３号）	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市介護保険特別会計補正予算（第２号）	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市農業集落排水特別会計補正予算（第１号）	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市公共下水道特別会計補正予算（第２号）	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市浄化槽施設特別会計補正予算（第１号）	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市簡易水道特別会計補正予算（第２号）	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市太陽光発電事業特別会計補正予算（第１号）	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の処分について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

総務常任委員会

平成30年7月12日～13日
鹿児島県いちき串木野市・熊本宇城市

いちき串木野市では、地域新電力の取り組みを視察。平成22年からさまざまな自然エネルギー・環境施策を展開。㈱いちき串木野電力を平成28年2月に設立し、電気の小売り事業に参入しました。

特徴的な施策は、2歳未満の子どもがいる家庭の基本料金を無料にする「はぐくみ応援プラン」や、地区公民館が契約すると公民館運営費として年1回5千円を寄付し、さらに各世帯が電力契約すると1世帯200円を公民館支援費として寄付する「公民館運営支援事業」です。

九州電力と比較して基本料金を5％ほど安く設定していました。

（いちき串木野市）

宇城市では、平成28年熊本地震における対応を視察。避難所運営では、初期は行政職員、中・長期は避難者が対応となっていましたが、実際は最後まで行政職員対応となったので、今後は住民自らの避難所運営訓練の実施や教職員の協力体制確立、民間企業への委託も検討されています。

初動対応は一部の部署に業務が集中したことなどから、初動対応マニュアルの整備などに現在取り組んでいます。

宇城市は震災前より市民参加型の防災訓練をしており、その中の安否確認訓練で、消防団・民生委員・嘱託員などにより市内全域で要支援者の家を訪問し、本人と面会して状況や災害時行動に必要な機材の確認などを行っているとのことでした。

厚生文教常任委員会

平成30年7月10日～11日
鹿児島県南さつま市・伊佐市

南さつま市では、市民の健康づくりの取り組みを視察。

生涯を通じて心身ともに健康で笑顔あふれる明るい生活を送れることを目的に設立された市民主体による百寿委員会では、実践しながら健康づくりと生きがいづくりに取り組んでいます。

健康寿命を延ばす事業として、高齢者元気度アップポイント事業、よか湯だな～事業、健康ポイント事業など実施しています。健康ポイント事業は、生活習慣の見直しと健康寿命の延伸を図ることを目的に、健診や健康教室、スポーツイベントやボランティアなどの参加によりポイントをもらい、最大1万円分の商品券をもらえるという事業です。

伊佐市では、子ども支援対策を視察。

子育て支援は、行政の保健師がネットワークの核となっていることが特徴で、地域の支援機関との役割分担ができ、療育を受ける子どもや保護者の支援体制も必然的に連携がなされ、保健、福祉、医療の人材、支援機関等がうまくつながって取り組んでいました。

発達支援は、早期気づき・早期支援が必要で、関係者全体で発達を見極める目を育てることが必要不可欠とのことで、早期支援を受けた子どもたちは、就学前には予想以上の成長をしているということでした。

（伊佐市）

産業建設常任委員会

平成30年7月23日～24日
鹿児島県鹿屋市・宮崎県日南市

鹿屋市では、畜産振興の取り組みを視察。鹿屋市は畜産新規就農者の確保として、畜産担い手定着促進事業、地域おこし協力隊制度の活用、畜産関係の大学生と鹿屋市内の畜産農家との交流プログラムの取り組みをしています。

畜産担い手定着促進事業は新たに就農しようとする者に対して、市内の畜産農家での最大2年間の農業研修や就農時に必要な助成を行い、円滑な就農を促進するもので、農業研修資金と就農開始資金の助成をしています。

畜産関係の大学生と鹿屋市内の畜産農家との交流プログラムでは、鹿屋市の畜産が抱える課題解決への若者のアイデア等を期待し、取り組まれていました。

日南市では、企業誘致の取り組みを視察。IT企業の誘致では、平成28年4月以降13社のIT企業と立地協定を締結しています。平成30年6月には105名の新規雇用が生まれている状況です。

IT企業誘致の効果として、商店街の空き店舗対策と若者の雇用創出の二つの課題解決の他、働く場を商店街につくることで、IT企業の社員が商店街で食事をするなどして商店街の消費者人口の増加につながり、相乗効果も生まれてきているようです。

（日南市商店街）

意見交換会を開催

厚生文教常任委員会 × NPO法人全日本福祉理美容協会はーとりんぐ

7月30日に厚生文教常任委員会とNPO法人全日本福祉理美容協会はーとりんぐの豊肥地区会員の皆さんと意見交換を開催しました。

当日は、はーとりんぐさんの概要や現状、課題を説明いただいた後、意見交換を行いました。

いただいた意見や質問は、今後の議員活動に役立ててまいります。

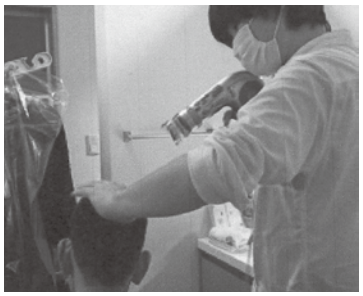
―どのような活動をされていますか。

私たち「はーとりんぐ」は現在、豊後大野市、宇目、竹田市にて6名で活動しています。

病院や在宅（病気などの身体的理由や交通手段がない方）などの方々に向けて、**介護美容師**（全介助ができる美容師）として、必要な方には車いすを持参し、カットやパーマ、カラー、メイク、エステ、ネイルなどの業務を行います。

時々、さまざまな施設（認知症、障がい者施設など）へボランティアとしてメイク、エステ、ネイル教室へ出かけています。

現在、病院や個人宅にお伺いするにあたり、担当ケアマネージャーさんと情報交換や面談などをし、その後に美容業務を行うことを基本としています。



―意見交換を終えて。

議員の皆さんには熱心に話しをお聞きしていただきました。

さまざまな質問の中でまだまだ改善しなくてはならないことがたくさんあることが課題として出てきたことは、「はーとりんぐ」を活動するにあたり大きな収穫でしたし、大変貴重なご意見として受け止め、一つ一つ改善し、より良い活動ができるよう、**介護美容師**として努力していきたいと思います。

―今後の意気込みを。

大分県内は介護美容師の数はまだ少なく、人数を増やしていきたいと思います。さまざまな地域からそれぞれの地域に在住するも、地元にご両親を残している方も多く、独居の在宅の方もおられ、地域の先生方と相互協力しながら介護美容師のご紹介ができるようにしたいと思います。

へき地や限界集落にいらっしゃる方々の所へ出向き、車いすや福祉車輌を導入し、公民館やサロンを活用させていただき、一日美容室を開きたいと思います。

経験豊富なベテランの美容師の先生方の技術の掘り起こしや育児で忙しく、フルタイムで働けない若い美容師さんへ向けての（2～3時間）労働力の確保など、雇用促進につなげていきたいと思います。

校長会と意見交換

8月17日、厚生文教常任委員会が小学校と中学校の校長先生方と意見交換会を実施しました。

はじめに代表して菅尾小学校と朝地中学校の教育の現状や特色を説明していただき、その後、意見交換を行いました。

子ども食堂等を視察
（大分県杵築市議会）

インキュベーション
ファーム事業を視察
（愛媛県東温市議会）

インキュベーション
ファーム事業を視察
（岡山県井原市議会）

視察を受け入れ

7月に、県内外から5市議会、計46名の方々が来庁され、豊後大野市の各種取り組みを視察しました。

九州オルレを視察
（宮城県大崎市議会）

消防庁舎等を視察
（鹿児島県いちき串木野市議会）

議会日誌

7月

2日(月) 岡山県井原市議会行政視察来市
5日(木) 愛媛県東温市議会行政視察来市
6日(金) 議会広報編集特別委員会
9日(月) 議会広報編集特別委員会
10日(火) 大分県杵築市議会行政視察来市
厚生文教常任委員会行政視察
（鹿児島県南さつま市）
11日(水) 厚生文教常任委員会行政視察
（鹿児島県伊佐市）
12日(木) 宮城県大崎市議会行政視察来市
総務常任委員会行政視察
（鹿児島県いちき串木野市）
13日(金) 総務常任委員会行政視察
（熊本県宇城市）
17日(火) 議会広報編集特別委員会
鹿児島県いちき串木野市議会
行政視察来市
18日(水) 議会活性化委員会
23日(月) 産業建設常任委員会行政視察
（鹿児島県鹿屋市）
24日(火) 産業建設常任委員会行政視察
（宮崎県日南市）
30日(月) 厚生文教常任委員会

8月

17日(金) 厚生文教常任委員会
22日(水) 議会全員協議会
議会活性化委員会
24日(金) 議会運営委員会
28日(火) 議会運営委員会
31日(金) 本会議（議案上程）
議会広報編集特別委員会

9月

5日(水) 本会議（一般質問）
6日(木) 本会議（一般質問）
12日(水) 本会議（議案質疑）
議会運営委員会
13日(木) 常任委員会
（総務・厚生文教・産業建設）
14日(金) 常任委員会
（総務・厚生文教・産業建設）
18日(火) 常任委員会（総務・厚生文教）
20日(木) 決算特別委員会（特別会計）
21日(金) 決算特別委員会（一般会計）
27日(木) 本会議（閉会）
議会運営委員会

第60号 平成30年11月1日発行
発行：大分県豊後大野市議会
編集：議会広報編集特別委員会
〒879-7198 大分県豊後大野市三重町市場1200番地
TEL 0974-22-1001 FAX0974-22-8101
http://www.bungo-ohno.jp/categories/bunyabetsu/gikai_senkan_kansa/shigikai/

市や議会に対する
市民皆さまの思いを紹介

キラリ ひと言

なかよし運動会とどんこ釣り大会

私たち犬飼小学校では、6月になかよし運動会をしています。今年のなかよし運動会は、折り返しリレーや、○人□脚リレーや、玉入れをしました。折り返しリレーは、なかよし班ごとに分かれて、1年生から6年生まで走るリレーです。6年生が班をまとめて、お世話を進んですることで班がまとまりました。○人□脚リレーは、二人三脚、三人四脚、四人五脚をするリレーです。高学年が声かけをしたり、やり方を教えてあげたりして、どんどん上手に進むことができました。玉入れは、低学年と高学年に分かれて、かごに玉を入れる競技です。待っている人が投げている人の応援をし、班の絆が深まりました。

犬飼小学校では、毎年どんこ釣り大会もしています。これも、班ごとに分かれてどんこを釣ります。どの班が一番多くどんこが釣れたかを競う大会です。

これからかも、なかよし運動会やどんこ釣り大会を続けて、みんなの絆を深め、良い学校、良い町にしたいです。

犬飼小学校６年
三宮（さんのみや） 万結（ま ゆ）

ただいま前進中

緒方中学校では、全校で、「さわやかあいさつ、しんけんそうじ、集中学習」の三つを頑張っています。毎朝、生徒玄関であいさつ運動を行います。地域の方々にも自分から先手でさわやかに大きな声であいさつをします。

そうじは、時間いっぱい工夫して行います。学期に１回そうじが上手な人「そうじマスター」を投票で決めます。

学習は、学年で目標を定めて、活気のある授業になるよう強化月間に取り組んでいます。

また、チューリップフェスタのために球根掘り、球根植えを小学生と一緒に行います。広大な畑で、小学生のお手本となるように作業をします。自分の割当が終わるとほかの人の手伝いに入ります。周りを見て行動することができるようになりました。

私たちはこれからも一人一人が先手精神で、何事にも真剣に取り組み、地域から誇りに思ってもらえるよう頑張ります。

緒方中学校３年
佐藤（さとう） 音歩（おと ほ）

広報編集特別委員会
委員長 内田 俊和
副委員長 川野 優治
委員 小野 泰秀
田嶋 栄一
吉藤 里美
嶺 英治

議会を傍聴してみませんか？

次回12月定例会は、12月3日に開会予定です。

手続きは、受付にて住所と名前を書くだけです。
お気軽に議会事務局にお尋ねください。
TEL 0974-22-1001
市内無料電話 9-22-1001